

平成 29 年度 富士山麓医療関連機器製造業者等交流会活動記録

第 1 回

- 日時 平成 29 年 8 月 23 日（水曜日）午後 3 時から
- 会場 富士市交流プラザ会議室（富士市富士町 20-1）
- 講演 「介護ロボット等に関する施策の動向」
講師 公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島清国 氏

■要旨

日本再興戦略の中で、厚生労働省と経済産業省は「ロボット介護機器開発 5 力年計画」(2014～2018)で積極的に開発・普及していこうとしている。経済産業省では、ものづくりや標準化を進め、厚生労働省では開発の早い段階から現場のニーズや試作機ができた段階で現場でのモニター、意見交換を行い導入を支援している。

両省で重点分野を定めて、介護ニーズの高い、移動・移乗、入浴、排泄、見守りなどの開発を進めている。ロボット戦略では、高齢者だけでなく、障害者にも支援機器の技術を活用できるよう進め、厚生労働省では、障害者の自立支援機器等開発促進事業を行っている。

研究を終え、試作機をこれから作る段階で、現場モニターへの補助も可能となっている。就労支援も加わり、事業費 3 分の 2 を補助するような事業になっている。

28 年度の事業の成果として、16 の製品が今までにないような開発に対して補助を行っている。現場モニターをする相手と連携体制を組み申請し、1 年間補助するという仕組みになっている。

- 企業発表 「医療機器参入から商品開発～続出！不安と難題。開発コラボの怒りと感動～」
発表者 ヤザキ工業株式会社 代表取締役 矢崎和宏 氏

■要旨

主要製品は、ダイカスト金型設計・製作・改造・修理。将来的に電気自動車化が進み、部品点数が減少することに危惧を感じ、当社の熟練技術者の力を借り、医療機器の試作品を完成させた。不安と難題が続出する中、医療機器分野への参入を試み、積極的にチャレンジしている。

■交流会

参加者は名刺交換を行い、ネットワーク強化がはかられ「連携による新たなビジネスチャンスの構築」が検討された。

最後に運営委員の前島氏の挨拶で閉会した。

以上、第1回ビジネスマッチング交流会を終了した。

第 2 回

- 日時 平成 29 年 12 月 8 日(金曜日)午後 3 時から
- 会場 富士市交流プラザ会議室 (富士市富士町 20-1)
- 講演 「ロボット活用で超高齢社会の課題解決～マーケティング戦略と事業構築～」
講師 介護ロボット経営実践会 主宰 関口史郎 氏

■要旨

高齢化の進展により更なる介護人材不足が懸念される中、介護ロボットは人材不足の解消をはじめ介護分野の課題解決の救世主、また新産業の育成という観点において期待が大いに高まっている。介護ロボットの普及については、国を挙げての取り組みが進んでいる。しかし、介護業界は製造や物流現場にロボットを納める BtoB のロボットビジネス市場とは特性が大きく異なり、顧客との間には大きなギャップが生じている。補助金の活用によって介護施設等へロボットが導入されてきたが、継続した活用には至っていないケースが多々見受けられる。「優れたロボットの提供」だけでは市場開拓が難しいの現状となっている。そこで、介護ロボットの市場開拓のために、マーケティング力を高め顧客とのギャップを埋めながら、顧客への価値を創造する一方で、利益を出して売れる仕組みづくりが重要となる。

- 企業発表 「高齢者 ICT 活用見守りシステムの開発と市場へのアプローチ」
発表者 株式会社 iSEED 代表取締役 井澤庄次 氏

■要旨

社名の由来は、「イノベーション+シード(種)小さな種を育て、未来への新しい価値を創造する」こと。業界初映像で見守る介護保険適用の徘徊感知システム「パルモケアシステム」、高齢者の部屋のエアコンを外部のスマホでコントロールできる業界初の見守りシステム「パルモ見守番」そして、徘徊してしまった高齢者を早期に発見できる位置情報検索システム「パルモどっち君」を販売している。日本は超高齢化が進み、一人暮らし高齢者の増加、認知症高齢者の増加、これらに伴う人手不足、介護費の増加等、多くの課題を抱えている。これらの課題を iSEED は、ICT で改善することを目的に活動している。

■交流会

運営委員の松坂氏の挨拶で開会した。参加者は名刺交換を行い、ネットワーク強化がはかられ「連携による新たなビジネスチャンスの構築」が検討された。また、株式会社 iSEED の井澤氏を取り囲み、「見守りテレビ電話 Parumo」の特長及び取扱いについて説明を受けた。最後に東海大学 影山教授の挨拶で閉会した。
以上、第2回ビジネスマッチング交流会を終了した。

第 3 回

■日時 平成 30 年 2 月 22 日(木)午後 3 時から

■会場 「ラ・ホール富士」富士市勤労者総合福祉センター5階 研修室（富士市中央町 2 丁目 7-11）

■講演 「生活支援ロボット「ロボットアシストウォーカーRT.2」開発から今後の展望」

講師 RT.ワークス(株) 取締役 CTO 藤井 仁 氏

■要旨

製品コンセプトは「介護を必要としない高齢者に歩く喜びと楽しみを感じてもらうこと」。医療用ではなく、あくまで「医療の一手手前」での使用を想定している。2015 年7月、同社にとって第1号製品となる「RT. 1」を発売。

1台 22 万 8000 円と高価で、苦戦を強いられた。

それらの課題を踏まえ、第2弾となる「RT. 2」を発売した。オンライン機能を外して介護保険の対象とし、価格は 11 万 8000 円に抑えた。

当社は、一般的な老人と介護の必要な人をターゲット市場とし、今後、事業展開をしていく方針である。

■企業発表 「高付加価値な農業戦略から機能性食品開発に挑戦」

発表者 (株)不二工芸製作所 研究開発室長 前島靖勲 氏

■要旨

不二工芸製作所」という名のおり、創業時の業種は木工業であった。その後、電子機器の最大手の下請けとして生産時期を経て、かねてより抱いていた「脱下請け」～「自社ブランドの創作」を目指した。結果、高付加価値な農作物をバイオという観点から捉え、それを実現すべく平成 8 年にアグリ事業に進出し、さらにバイオ事業との 2 事業部制を確立した。アグリ事業は野菜栽培プラントを新設して野菜生産を開始し、バイオ事業は健康食品製造に特化しつつ、加えて野菜由来製品の研究開発部門を担っている。アグリビジネスの高付加価値への提案を行うべく、公的機関、大学と連携を強化し、日々情報収集を行っている。

■交流会

運営委員の松坂氏の挨拶で開会した。参加者は名刺交換を行い、ネットワーク強化がはかられ「連携による新たなビジネスチャンスの構築」が検討された。

また、参加者は「ロボットアシストウォーカーRT.2」のデモ機を実体験した。

最後に東海大学 影山教授の挨拶で閉会した。

以上、第3回ビジネスマッチング交流会を終了した。

第1回視察研修

■日時 平成29年11月14日(火曜日)・15日(水曜日)

■視察先 京都試作ネット・株式会社名高精工所(1日目)

京都大学 産官学連携本部(2日目)

■要旨

①京都試作ネット

京都南部のものづくり中小企業37社の連携により、インターネットを通じ、試作品の受注や提案・製作を行うシステム「京都試作ネット」が2001年7月に誕生した。発足以来、大手企業や官庁関係をはじめ、さまざまな企業から金属加工をはじめ、様々な試作相談は7500件、その中からの受注実績1000件、受注金額40億円を突破している。

国内最高水準の技術とノウハウで、顧客の課題に最適な試作を提案し、京都試作ネットは、コスト競争力ではなく、開発段階で最も重要視される「スピード」を最優先している。

②株式会社名高精工所

自動車のターボチャージャー、飛行機の翼部品、フォークリフト・建機の油圧機器部品、その他食品包装機や医療機器など幅広い分野のものを扱っており、トータルでは1,000を超えるアイテムを加工・組立している。60年以上に亘り、あらゆる業界の切削加工を手掛けてきた経験に基づき、製品の材質、形状に合わせて最適な設備を選択し、より短いサイクルタイムで安定した加工が実現できるよう効率的な治具を自社開発している。タイ工場も稼働させ、グローバル体制での安定供給を実現している。

特徴(強み)は、鉄やステンレス、アルミなど様々な材料で、1ミリ以下の部品から500ミリまでの部品を製作することができる。確かな技術力で、顧客製品の性能が十二分に発揮できるような製品作りに取り組み、品質・コスト・納期の要望に対応している。

③京都大学 産官学連携本部

京都大学は創設以来、深い思索に基づく創造的な研究や新規学問領域の構築など、世界に誇るべき諸成果をあげるとともに、多様な経験・知見を有する人材を輩出した。

産官学連携本部は、産官学連携に係る調査研究、産官学の共同研究、産官学における国際的連携及び地域社会連携の推進、知的財産の確保と活用、ベンチャーの育成、起業支援等の活動を通じて、京都大学の教育・研究活動基盤の向上を目指している。産官学連携を通じてイノベーションの創出と社会貢献を積極的に進め、この目的を達成するため様々な産官学連携の仕組み、組織体制の整備を進めてきた。

1 団体の名称や人物の肩書、各種制度の内容は講演、視察等の時点のままですので、御留意ください。

2 静岡県中小企業団体中央会が作成した原稿を基にしています。



主催 富士市 産業経済部 産業政策課

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地

電話番号：0545-55-2779 E-mail:sa-sangyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

事務局 静岡県中小企業団体中央会 東部事務所

〒410-0881 静岡県沼津市八幡町7番1号

電話番号：055-963-4511 E-mail:fuji-ikoukai@siz-sba.or.jp